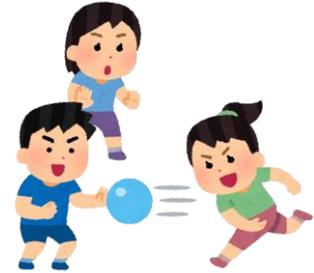


令和5年度 学校だより 学校評価特別号	名古屋市立矢田小学校 〒461-0048 名古屋市東区矢田南4-4-1 TEL 052-721-2508 (電話・来校者対応時間 平日7:45~18:00) http://www.yada-e.nagoya-c.ed.jp/
 学校と家庭、地域をつなぐ 矢田だより	
発行日 令和6年3月4日(月)	

学校評価の結果と改善点をお知らせします

本校の教育活動を振り返り、成果や問題点を明らかにし、改善を図ることを目的として、学校評価を実施しました。保護者のみなさまにはアンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。ここに、結果をお伝えするとともに、今後改善すべき点を明らかにして、よりよい教育活動を進めていきます。



評価結果の見方について

教職員の自己評価、保護者アンケート、児童アンケートを比較・検討しました。

- ① A(よくあてはまる)を4点、B(だいたいあてはまる)を3点、C(あまりあてはまらない)を2点、D(まったくあてはまらない)を1点として計算・平均化しました。
- ② 平均点が3.2点(80%)を超えればおおむね満足とし、◎の判定を、3点未満のものについては、対策が必要であると考え、△の判定をしました。
- ③ 令和4年度と5年度で共通している評価指標の平均点と判定については、比較できるように、()内に令和3年度の結果を示しました。
- ④ 簡単な分析や今後の課題とすべきことを、➡以降にゴシック体で記述しました。今後の改善に生かしていきたいと考えています。

アンケート1 年度目標「プロジェクト型学習 実践校」としての取り組み

評価指標		平均点	判定
教職員	子どもが、学びの過程で自己選択、自己決定できるよう、指導を工夫した。	3.6	◎
保護者	子どもが、学びの過程で自分が選んだり、自分で決めたりするように取り組んでいる。	3.3	◎
児童	わたしは、学びの過程で、自分で選んだり、自分で決めたりしながら、活動することができた。	3.3	◎

- ➡ 本校では、今年度も引き続きモデル事業に取り組みました。「探究的な学びを重視した総合・生活科の学習」と、「プロジェクト型学習の要素を取り入れた教科学習」の二つの柱で、実践を進めてきました。

① 興味や関心を深め、自分でゴールを設定して探究していく活動を続けています。学年が上がるにつれて学習の流れに慣れていき、子どもたちは学びを自走させています。今後も、子どもたちの自己選択・自己決定を大切にできる支援を目指します。



【自分たちが企画したイベントを実施する様子】

教職員	子どもが、人や社会と協働できるよう、指導を工夫した。	3. 5	◎
保護者	子どもが、友達や保護者、地域の方々など様々な人と関わりながら課題を解決するように取り組んでいる。	3. 2	◎
児童	わたしは、友達やおうちの人、地域の方々など様々な人と関わりながら課題を解決することができた。	3. 2	◎
②	<p>➡ 本校が進める「わくわく学習」に取り組む三つの視点の一つに「協働化」があります。様々な方と関わりながら学びを深めて行くことができるように、学習を進めています。</p> <p>単元を通して、様々な大人と関わったり、友達とともに考えたりしたことが課題発見や追究の深まりにつながりました。他者と学ぶ、他者から学ぶ、という視点は、学びを深め、自己の生き方を考える上でも大切な活動だと考えており、今後も継続していきます。</p>		

【外国の方を招いて学習を進める様子】

アンケート2 年度目標 「キャリアサポートモデル」の取り組み			
評価指標		平均点	判定
教職員	子どもが、自己肯定感を高められるように、指導を工夫した。	3. 4	◎
保護者	子どもが、自分のよさや頑張りに気付き、自己肯定感を高められるように取り組んでいる。	3. 2	◎
児童	わたしは、自分のよさや頑張りに気付くことができた。	3. 2	◎
③	<p>➡ 子ども自身が「自分のよさ」を意識して、自己肯定感を高めることができるような声掛けを、様々な場面で行いました。特に、評価指標①や②で取り組んでいる「わくわく学習」では、他者との関わりを通して、自分の良さを感じることに繋がっています。</p> <p>また、キャリアパスポートを学期始めと学期終わりに記入して自分の目標を設定したり、振り返ったりする活動を継続しており、自分のよさや頑張りに気付く子どもも多くいました。一方で、キャリアサポートの取り組みを保護者の皆様に十分にお伝えすることができていなかったことを課題として捉えています。</p> <p>各ご家庭におかれましては、子どもの頑張りやよさについて認め、励ます声掛けをしていただくことで、学校の取り組みとの相乗効果で、より一層、自己肯定感を高めることが期待できます。ご協力、よろしくお願いいたします。</p>		
教職員	子どもが、他者を理解し、認め合うことができるように、指導を工夫した。	3. 4	◎
保護者	子どもが、友達によさに気付いたり、互いのよさを認め合ったりすることができるように取り組んでいる。	3. 3	◎
児童	わたしは、友達によさに気付いたり、互いのよさを認め合ったりすることができた。	3. 5	◎
④	<p>➡ 今年度の最上位目標「自分もみんなもハッピーに」は、ここ数年、継続して掲げており、子どもたちの中に浸透し、そのことが自分のよさに気付いたり他者のよさを考えたりすることにつながったとも考えています。</p> <p>授業では、友達と協働したり意見交換をしたりすることで、互いのよさを認めあえる機会をなるべく作っています。とはいえ、不注意に人を傷つけてしまう言動があり、トラブルにつながることもあります。温かい言葉を日常的に使うことで、他者と気持ちよく過ごすことができるように、継続して、指導していきたいと考えています。</p>		

アンケート3 学習について				
評価指標			平均点	判定
教職員	子どもにとって「分かりやすい授業」となるように、指導を工夫した。	3. 5 (3.5)	◎ (◎)	
保護者	子どもは、「授業が分かりやすい」と言っている。	3. 1 (3.3)	○ (◎)	
児童	授業で何をしたらよいかなど、大事なポイントがよく分かる。	3. 3 (3.7)	◎ (◎)	
⑤	<p>➡ 教職員、児童では◎の判定でしたが、保護者では○となりました。平均点で見ると、児童が-0.4ポイント、保護者が-0.2ポイントでした。見通しをもって学習に取り組むことができるような授業を目指しているところですが、児童に十分に伝わっていないことがあるのではないかと分析しています。これまで同様、高学年で一部の教科で教科担任制を取り入れつつ、個に応じた支援ができるようにしていきたいと考えます。</p> <p>今後も、子どもたちにとって分かりやすい授業となるよう、指導体制を整えるとともに、業務改善を進めて授業準備の時間を確保し、各教員は研修などを通して指導力の向上に努めていきたいと考えています。</p>			
アンケート4 生活について				
評価指標			平均点	判定
教職員	子どもにとって「楽しい学校」となるように、指導を工夫した。	3. 6 (3.7)	◎ (◎)	
保護者	子どもは「学校へ行くのが楽しい」と言っている。	3. 3 (3.5)	◎ (◎)	
児童	学校は楽しい。	3. 6 (3.6)	◎ (◎)	
⑥	<p>➡ 教職員と保護者で一評価でしたが、判定としては全ての立場で◎でした。学習の個別化や協働化が、主体的な学びにつながっているのだと捉えています。</p> <p>また、保護者や地域の方々の協力を得ながら、学校として子どもたちに「豊かな学び」を提供できていることも大きな要因であると考えています。今後も、このような結果が得られるよう学校と家庭、地域が手を取り合って教育活動に取り組むことができればと思います。</p>			
				
	【地域の方とともに行った三世代交流会の様子】			
教職員	子どもが、様々な場面で、自分から進んで挨拶することができるよう指導した。	3. 3 (3.2)	◎	
保護者	子どもは、様々な場面で、自分から進んで挨拶することができるように指導している。	3. 2 (3.2)	◎	
児童	わたしは、様々な場面で、自分から進んであいさつしている。	3. 2 (3.2)	◎	
⑦	<p>➡ 教職員が+0.1ポイントとなり、判定としては、教職員、保護者、児童ともに◎となりました。教職員の振り返りでは、昨年度よりもあいさつの様子がよくなったと感じている一方で、自分からできる児童が少ないという意見もありました。委員会、クラス、教職員からの働きかけなど、多方面からあいさつに焦点を当てて行ければと考えています。来年度も継続して指導していきたいと考えています。</p>			

	教職員	子どもが、よりよく生活するために、様々な場面で適切に判断できるように指導した。	3. 5 (3.4)	◎ (◎)
	保護者	子どもが、よりよく生活できるよう、様々な場面で適切に判断できるよう、指導している。	3. 3 (3.3)	◎ (◎)
	児童	わたしは、よりよく生活できるように、考えながら行動した。	3. 2 (3.2)	◎ (◎)
⑧	<p>➡ 「矢田小のやくそく」の大幅な見直しから今年度末で丸四年となります。自分たちでどのようにして決まりを守るべきかを考える習慣もだいぶ根付いてきたように感じます。ただ、基本的な持ち物や過ごし方など、学校全体に関わるルールが曖昧で、保護者の方には分かりにくい部分があったのかもしれない。児童や保護者の皆様には、基本的なルールをなるべく分かりやすい形でお伝えした上で、日常生活については児童が過ごし方を考えながら学校生活を送ることができるようにしていきたいと考えます。また、子どもの様子に応じて必要な声を掛けながら、「みんなが気持ちよく生活できるようにするためにはどうしたらいいのか?」「安全に生活するためにはどうしたらよいか?」について、継続して意識していくことができるように、働き掛けていきます。</p>			
アンケート5 健康・安全について				
評価指標			平均点	判定
	教職員	安全に関わる指導（交通安全・防犯・防災など）を適切に行った。	3. 6 (3.4)	◎ (◎)
	保護者	学校は、安全に関わる指導（交通安全・防犯・防災など）を適切に行っている。	3. 5 (3.3)	◎ (◎)
	児童	わたしは、安全に関わる行事（交通安全・防犯・防災など）に真剣に取り組んだ。	3. 6 (3.6)	◎ (◎)
⑨	<p>➡ 学校では「万が一」に備え、「想定外」ということがないように、避難訓練や朝会、行事等の折に安全に関わる指導を行っています。「命を守る大切な取り組み」として、子どもたちも真剣に取り組み、充実した訓練が行われています。アンケートは、全ての立場で昨年度と同様か上回る結果となりました。</p> <p>不審者情報が年に数回程度入ってきます。その都度、学校で注意喚起をしたり、「つみきおに」の指導をしたりしています。ご家庭でも話題にさせていただきたいと思います。</p>			
	教職員	子どもの心身に異常があった場合、連絡や処置を適切に行った。	3. 6 (3.5)	◎ (◎)
	保護者	学校は、子どもの心身に異常があった場合、連絡や処置を適切に行っている。	3. 5 (3.4)	◎ (◎)
⑩	<p>➡ 今年度も、学校での出来事や児童の様子について、電話や対面等で、保護者のみなさまとしっかりと連絡を取り、共通理解を図るよう心掛けてきました。保護者のみなさまには、学校からの連絡に対して快く対応していただき感謝しています。今後も、児童の望ましい成長を願い、保護者のみなさまのご協力をいただきながら指導にあたりたいと思います。</p> <p>欠席連絡の方法として、「きずなネットへの入力」による運用もだいぶ定着してきました。保護者の皆様のご協力に感謝いたします。</p>			
	教職員	「新型コロナウイルス感染症の感染予防」についての指導を適切に行った。	3. 6 (3.4)	◎
	保護者	学校は、「新型コロナウイルス感染症の感染予防」についての指導を適切に行っている。	3. 4 (3.5)	◎
	児童	わたしは、「新型コロナウイルス感染症」の予防を心掛けて生活することができた。	3. 4 (3.5)	◎
⑪				

<p>➡ 新型コロナウイルス感染症が5類に変更になり、ずいぶんと日常生活が戻ってきたように感じます。それにともない、学校行事も徐々に制限を解除して行うようになりました。3学期にはインフルエンザの大流行に伴い、多くの学級が臨時休業となりご心配をお掛けしました。この状況は今後も起こり得るものとして、日頃から手洗いやうがい、感染拡大期にはマスクを着用するなど、予防を心掛けていけるよう呼び掛けていきたいと思えます。</p>				
アンケート6 運営について				
評価指標			平均点	判定
教職員	子どもの悩みやトラブルに適切に対応した。		3. 5 (3.2)	◎ (◎)
保護者	学校は、子どもの悩みやトラブルに適切に対応している。		3. 3 (3.3)	◎ (◎)
児童	先生は悩みやトラブルがあったときは、真剣に話を聞いてくれた。		3. 6 (3.6)	◎ (◎)
⑫	<p>➡ 児童、保護者、教職員ともに◎の判定でした。「教育相談週間」や日常の関わりの中で、子どもたちから話を聞いたり相談に乗ったりできるようにしています。毎週木曜日に来校しているスクールカウンセラーも、多くの方にご利用いただいています。また、4年生を対象とした、スクールカウンセラーによる全員面談も行いました。児童の思いや考えを知る大切な機会と捉え、次年度も継続していきます。</p> <p>今後は、教職員が情報共有を心掛け、多くの目で子どもたちをサポートしていける体制を改めて強固なものにしていけるよう取り組みます。</p>			
教職員	施設や設備を子どもの学習環境として適切に整えた。		3. 3 (3.4)	◎ (○)
保護者	学校は、施設や設備を子どもの学習環境として適切に整えている。		3. 4 (3.4)	◎ (◎)
⑬	<p>➡ 今年度は西校舎のリニューアル改修を行いました。工事に伴い、運動場にプレハブ校舎を建設したことで、校内の通行などご迷惑をお掛けいたしました。西校舎はとてもきれいになり、児童にとってよりよい環境で教育活動を行えるものと考えております。</p> <p>また、3月4日(月)以降、一部変更していた通学路を元の経路に復帰します。</p> <p>今後、プレハブ校舎の解体に2か月弱を要し、復旧はゴールデンウィーク前後と想定しています。引き続き、皆様にはご不便をお掛けしますが、ご協力をお願いいたします。</p>			
教職員	学校の運営方針や子どもの活動の様子などを、家庭や地域に分かりやすく伝えた。		3. 3 (3.2)	◎ (○)
保護者	学校は、学校の運営方針や子どもの活動の様子などを、家庭や地域に分かりやすく伝えている。(学校だより・ホームページ・ZOOMによる発信など)		3. 5 (3.5)	◎ (◎)
⑭	<p>➡ 3学期から、きずなネットのメール配信に文書を添付して、基本的にデジタル配信をメインとするようにしました。たくさんのお便りがあるので、埋もれてしまったり手違いで保護者の皆様に届かなかったりすることを防げるのではないかと考えます。</p> <p>一方、教職員の振り返りでは、学校が重点的に取り組んでいるプロジェクト型学習やキャリアサポートについて、保護者の方に十分に伝え切れていないのではないかとこの反省も出されました。現在、学校ホームページを中心に、モデル事業に関する内容を発信していますが、それ以外にも様々な方法で学校の取り組みをお伝えできるように努めていきたいと考えています。</p>			

学校関係者評価委員会を実施しました

学校関係者評価は、学校評価の客観性や透明性を高めるために、「自己評価（教職員）・保護者アンケート・児童アンケートの結果」をもとに、本年度の取り組みについて学校外部の方々に評価をしていただくもので、本校では学校評議員とPTA会長・PTA副会長（学校代表）のみなさまに委員をお願いしています。いただいた意見の一部を紹介させていただきます。



アンケート1 年度目標「ナゴヤ・スクール・イノベーション モデル実践校」としての取り組みについて

- 保護者の評価が教職員に比べて低くなっているのは、保護者に伝わっていないから、アンケート項目について、学校の様子が分からないのだと思う。
- 子どもに聞いた一場面だけで判断して回答していることもあるかもしれない。普段の学校の様子を保護者がもう少し知れるようにできるとよい。

アンケート2 年度目標 「キャリアサポート」の取り組みについて

- 学校教育で子どもたちの社会適応能力を育てていけるとよい。
- 学校は、自由にチャレンジして失敗してもよいというスタンスである。家庭や地域も同じスタンスで子どもたちにチャレンジさせられるとよいし、失敗も認めていけるとよい。

アンケート3 学習について

- 学校でも家庭でも、指導に正解はないと思う。その子にあった指導を見極めていくのが大人の役割である。

アンケート4 生活について

- 子どもたちは元気に過ごしていると感じる。
- 夏休みのラジオ体操で、子どもたちがお手伝いする姿や明るい挨拶が見られた。とてもよいと感じた。
- 家庭はどんどん忙しくなっている。だからこそ、地域やPTAが協力して子ども達を見守っていけるとよい。
- どんな状況でも子どもは自分で育っていく力があるように思う。しかし、成長の過程で、善悪の判断がきちんとできるようになってほしい。学校でも家庭でも、それを念頭に置いて、子どもたちに関わっていけるとよい。

アンケート5 健康・安全について

- 「子どもの名前は分からなくても、顔を見ればわかる」という状態であることは、地域としてはよいことだと捉えている。学校外でも子どもの安全を見守っていけるように、学校と連携を図っていきたい。

アンケート6 運営について

- 学校だよりだけでは、子どもの様子が伝わりにくいこともある。ただ、今の学校だよりのスタイルは、教職員の多忙化を解消するための方法でもあると思うので、このままでよい。
- 共働きなどで家庭が忙しくなっているからこそ、親子のコミュニケーションを促すような仕掛けを学校ができるとうよいのではないか。
- アンケート項目で、学校がどこに力を入れているのかを分かるようにするとよい。

これらの意見も、来年度の矢田小学校の教育活動に生かしていきます。